

会員の声

高齢者の高血圧管理

鷺尾 昌一*

「健康高齢者の脳の画像所見と関連する危険要因および精神神経機能について：地域における脳画像健診後の保健指導のために」¹⁾を興味深く、拝読いたしました。この論文の中で、築島恵理先生らは脳の形態画像健診で得られた所見を基に、適切な保健指導を行い、個々の対策を立て、高血圧などの危険因子の管理を行い、その後の脳卒中発症や精神機能低下を予防する重要性を説かれています。

高齢者では痴呆の程度が高度なほど日常生活動作の自立の程度は低く²⁾、痴呆老人は介護が必要な者が少なくありません。このため、脳血管性痴呆の予防につながる「生活習慣病」の治療や予防は医療と福祉の費用の高騰を抑止するうえで非常に大切です³⁾。

高齢者の高血圧の管理の実際について、私の考えを述べます。私たちは脳血管性痴呆患者(VD)、アルツハイマー型痴呆患者(SDAT)、非痴呆者において血清脂質とともに、脳CT所見、心電図、胸部X線写真、血圧、長谷川痴呆スケールなどを調査しました⁴⁾。調査の結果、長期の

高血圧管理の状態を反映する心電図異常はVDが、SDATや非痴呆者に比べ、有意に多く認められ、良好な血圧管理がVDの予防に大切であると考えられました⁴⁾。しかし、VDはSDATに比べ、血圧は高値を示したものの非痴呆者と比べ差は認められませんでした⁴⁾。高齢者は脳循環の自動調節能が低下しており、過度の降圧は脳血流量を減少させ、痴呆や脳梗塞の誘因となります⁵⁾。VDには脳卒中発症後に血圧が低下した症例だけではなく、血圧を下げる過程で脳梗塞を発症した症例も含まれていると考えられます。高血圧の管理の目的は血圧を正常範囲にコントロールするのではなく、脳卒中などの合併症を予防することです⁵⁾。個々の症例について、めまいや立ちくらみがないかを確認しながら、脳梗塞を発症させないように穏やかに降圧していく必要があります。

(受付 '98.12.11)
(採用 '99.2.15)

文 献

- 1) 築島恵理, 岸 玲子. 健康高齢者の脳の画像所見と関連する危険要因および精神神経機能について：地域における脳画像健診後の保健指導のために. 日本公衛誌 1998; 45: 1039-1049.
- 2) 鷺尾昌一, 納富昭人, 岡山昌弘, 他. 特別養護老人ホーム入所者の予後とその関連要因. 老年精神医学雑誌 1993; 4: 1413-1418.
- 3) 鷺尾昌一, 荒井由美子. 高齢化社会における生活習慣病対策. 公衆衛生 1998; 62: 888-889.
- 4) 鷺尾昌一, 濱田 正, 納富昭人, 他. 高齢者痴呆患者の血清脂質, アポリポタンパク, 過酸化脂質, ビタミンEに関する研究. 老年精神医学雑誌 1994; 5: 979-984.
- 5) 鷺尾昌一. 高齢化社会の健康教育, 公衆衛生関係者の役割. 日本医事新報 1998; 3860: 62-63.

* 九州大学医学部公衆衛生学講座専修生
国立療養所中部病院長寿医療研究センター客員研究員
連絡先：〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
九州大学医学部公衆衛生学講座 鷺尾昌一